平成30年度　松阪地域災害医療対策協議会の取り組みについて

◎第1回松阪地域災害医療対策協議会

日時：平成30年7月19日（木）14:00～16:00

場所：県松阪庁舎６階大会議室 　出席者：42名

（概要）

平成29年度の活動報告、平成30年度の各関係機関の取組について情報共有を行いました。平成30年度の取り組みについて検討していただきました。また、三重県広域受援計画について、県防災対策部災害対策課より説明をいただきました。

◎避難所運営ゲーム（ＨＵＧ）

日時：平成30年11月16日(金)19：00～21：00

場所：県松阪庁舎6階大会議室　　参加者41名

（概要）

　県防災対策部防災技術指導員宮田講師の指導のもと、演習を中心に研修を行いました。参加者を6班に分け、大地震直後の避難所運営について演習を通じて問題点や課題について検討していただきました。

◎情報伝達訓練

日時：平成31年1月17日(木)13：00～16：50

場所：県松阪庁舎6階大会議室

（概要）

　南海トラフ地震（震源地和歌山県沖）を想定し、関係機関の被災状況等の情報共有を図る訓練を行いました。各医療機関は被災状況等を、市町は救護所の開設状況等をEMISに入力を行いました。その他の関係機関についてはＮＴＴ回線及び防災行政無線回線（災害拠点病院を含む）によるFAX伝達訓練を行いました。衛星携帯電話を保有する機関については、2グループに分かれリレー方式で伝達訓練を行いました。保健所はこれらの結果を集約しホームページ上で情報還元を行いました。また、松阪地域災害医療コーディネーターによる指揮・対応・連絡調整訓練も行いました。

◎クロノロ研修

日時：平成31年2月8日(金)19：30～20：30

場所：県松阪庁舎6階大会議室　　参加者46名

（概要）

　講師を松阪市民病院の谷口先生にお願いし、災害拠点3病院、松阪市、松阪保健所に分かれて訓練を行いました。内陸直下型地震発生後8時間後を想定し、被害情報や救助要請、救護所の情報などについて連絡係、記録係に分かれて、関係機関の迅速かつ適切な情報伝達および記録の重要性について研修しました。

◎第2回松阪地域災害医療対策協議会

日時：平成31年2月8日（金）20：30～21：30

場所：県松阪庁舎6階大会議室　　出席者42名

（概要）

平成30年度の情報伝達等訓練（平成31年1月17日実施）の検証を行いました。また、平成31年度の協議会の取り組みについて検討を行いました。次年度もクロノロ研修を実施、講演会についても開催することとなりました。

　なお、平成30年9月6日～７日に予定していましたEMIS入力訓練については、北海道胆振東部地震発災のため中止させていただきました。